特別養護老人ホーム

# すだちの里

25th ANNIVERSARY 2001 - 2026



## 25年の感謝を、これからの歩みへ

### 特養 すだちの里は永久に不滅です



## お陰様で２５周年　　～ご 挨 拶～

当法人が運営いたします特別養護老人ホーム すだちの里は、令和8年11月1日で開設25周年を迎えることが出来ました。
ひとえに地元自治体、地域の皆様の温かいご支援を頂き、25年間 地域の「高齢者福祉施設」として運営努力して参りました。
令和2年に突如発生した新型コロナウイルス感染症は、その後約5年間、当施設にとって予想もしなかった状況をもたらしました。しかし、職員の皆さんの昼夜を問わない適切な介護により、「クラスター」という最悪の危機を回避することが出来ました。職員の皆さんの徹底した危機管理のお陰であると、心より感謝申し上げます。

施設経営も最近、色々な面で違った「フェーズ」に入ってきておりますが、基本的には「生活の場を提供する」という観点から、当然のことながら利用者の皆さんに「常に清潔で快適な居住空間を提供する」を目標に、細部に亘る「気・目・心配り」を徹底し、職員が一丸となって利用者の皆さん一人一人の人としての尊厳を尊重し、施設内における「主体者」は誰であるのか、立場の逆転等の事態が発生することの無いよう、引き続き留意していく所存です。

今後とも、福祉サービスを要する地域の方々が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化とあらゆる分野での活動に参加する機会が与えられますよう、地域福祉の向上に少しでもお役に立てるよう、職員一同努力してゆく所存です。

引き続き、何卒よろしくお願申し上げます。

令和８年１１月１日
社会福祉法人　月 出 里
理　事　長　　湯原　紘

# すだちの里 25年のあゆみ

## ① 施設開幕



**施設完成・開設祝賀会**
多くの関係者参加のもと開設の門出をお祝い頂きました

## ② 施設主催の恒例行事



**納涼祭・そば打ち会**
周辺の皆様、近隣蕎麦店出張など恒例の行事を催しました

## ③ 地域との交流



**地元盆踊り**
職員総出で『稲敷たから音頭』を舞いました

## 時代の流れとともに 25年間の歩み

激動の時代を、地域とともに歩んできました。

| | 2000 | 2001 | 2002 | 2006 | 2008 | 2011 | 2019 | 2020 | 2021 | 2024 | 2025 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 世の中の動向 | ● 介護保険制度スタート | ● 米同時多発テロ（9.11） | ● 日韓ﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ | | ● ﾘｰﾏﾝ・ｼｮｯｸ | ● 東日本大震災<br>● なでしこｼﾞｬﾊﾟﾝ世界一 | ● 令和へ改元 | ● 新型ｺﾛﾅ感染症拡大 | ● ｳｸﾗｲﾅ侵攻<br>● 生成AI登場 | ● 能登半島地震<br>● 大谷選手「50-50」達成 | ● 大阪・関西万博開催 |
| すだちの里の歩み | ● 法人設立 | ● 特養事業所<br>● 通所事業所<br>● 短期入所事業所<br>開設 | ● 居宅支援事業所開設 | ● 老人通所予防<br>● 老人短期予防<br>開始 | | ● 開設10周年 | | ● 感染症対応 | ● 特養・短期・通所床数、定員　見直<br>● 非常用発電機 換装 | | ● 居宅支援事業所閉所<br>● 開設25周年 |

2000 → 2005 → 2010 → 2015 → 2020 → 2025

これからも、地域の皆様とともに。

## ④ 開設10周年




**10周年記念式典**
開設記念について地元新聞にて報道されました

## ⑤ 感染症拡大対応



**シールド越しでの面会**
ご利用者・ご家族の皆様には大変ご不便をおかけ致しました

## ⑥ 地域との交流再開



**喜楽座コンサート**
部外関係者・周辺住民の皆様との交流を再開しました

## 施設長メッセージ



創設25周年を迎えるにあたり、これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。これまで大切にしてきた利用者本位の姿勢、職員を大切にする文化、地域とのつながりを受け継ぎながら、時代の変化にも柔軟に対応してまいります。より安心して暮らせ、職員が誇りとやりがいを持って働ける、地域にとってなくてはならない施設を目指し、皆様とともに次の節目へ歩んでまいります。
今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

施設長　山本 一成